

放課後等デイサービス	公表	事業所における自己評価結果
------------	----	---------------

事業所名		あんだんて				公表日 2025年 5月 16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	プログラムに応じて活動スペースを分けている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	子どもの利用が多くなるときは、職員を増員している。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	8		現状バリアフリー化できていない場所が多く、今後の課題の一つである。コーナーガード等を使用し、環境整備を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	朝と夕方で掃除をこまめに行っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	個々のレベルに合わせたプログラムを活動場所を適宜変更し行っている。	空調設備は準備中である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	実施している。	現状振り返りと改善が不十分であるため、今後そこを強化していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	評価表はこれからだが、定期的に面談や参観を行い、情報交換を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7	内部ではすでに研修を行っており、外部への研修については計画中である。	計画中である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	3	内部ではすでに研修を行っており、外部への研修については計画中である。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	ブログにて公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	1	子どもや保護者と話し、ニーズや課題を確認し、それをもとに事業所での目標を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	児発管だけでなく、全職員が子どもの様子について共有し、アセスメント等に反映している。	共通理解を深めるための話し合いを定期的に行う。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2	計画書を全職員が目を通し、共有の理解の上と支援を行うよう心掛けている。	共通理解を深めるための話し合いを定期的に行う。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	様々な方法でアセスメントを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	実施している。	

支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	実施している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	実施している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	支援内容と役割分担を共有している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	シフト上全員で行うことが不可能なもの、気づいた点は共有し、後日以降でも共有できるよう申し送りを行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	実施している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2	実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	0	実施している。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	子どもたちの自主性を育むため、「したいこと」について尋ね、できる限り尊重している。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	実施している。	
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4	支援会議に参加し、情報共有を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2	実施している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	5		就学後から利用開始した場合は、園等との情報共有は現状行えていない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	8		これまで対象者がいなかったものの、必要に応じて情報共有等行う予定である。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4		計画中である。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	5	学童併設のため、交流あり。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5	参加している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	送迎時や保護者参観等にて実施している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	実施している。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	実施している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	実施している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	1	実施している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	0	実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	実施している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	ブログを行い、情報発信をしている。また、HPも作成中である。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	外部へ持ち出さず、鍵のついた保管庫にて管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	実施している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		計画中であるものの、防犯の観点から慎重に行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	BCPに沿って実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	BCPを策定し、それに沿って実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	全職員で確認を行い、対応方法についても勉強会を開く等工夫している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3		整備中である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	実施している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	3		整備中である。